

「保護者会・父母会」「連絡協議会」の役割と大切にしたいこと

編集部

学童保育にはじめて関わる方のなかには、「学童保育の保護者会・父母会ってなにをするの?」「学童保育連絡協議会ってなあに?」と疑問を抱く方もいるのではないのでしょうか。ここでは「保護者会・父母会」「学童保育連絡協議会」の役割、大切にしたいことを紹介します。

保護者会・父母会とは

保護者会・父母会（「父母の会」などと呼ぶ地域もあります。以下、保護者会）は、学童保育に通う子どもの保護者が集ってつくり、学童保育を支える組織です。公立公営や法人運営など、運営主体がどこであっても、保護者が自主的につくることができます。

保護者会は、子どもの様子や学童保育の生活内容を保護者間で共有し、「子どもにとってよりよい生活内容や環境」

を指導員と力をあわせてつくりだすうえでの基盤ともなります。保護者会の役割は、つぎの五点にまとめることができます。



◆働きながらの子育ての様子や思いを交流し、支えあう……仕事や子育てのことなどを率直に話しあったり、相談できる関係があることは、保護者自身にとっての支えにつながります。交流は、話しあいの場である保護者会、そして行事などに参加するなかでも図ることができま

す。
◆学童保育での生活内容を指導員と共に支える……学童保育での子どもの生活を充実させるためには、保護者と指導員が子どもの様子を伝えあい、子育てについての思いや願いを話しあえる関係をつくるのが大切です。

つづきは本誌をくらんでください